



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 朝日工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5456 URL <http://www.asahi-kg.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 政徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 稲場 進 (TEL) 03-3987-2161  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	25,586	11.6	△161	—	△95	—	△418	—
29年3月期第3四半期	22,922	△15.2	747	△40.2	695	△46.0	359	△68.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 △284百万円(—%) 29年3月期第3四半期 491百万円(△58.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△59.78	—
29年3月期第3四半期	51.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	30,236	7,910	26.2
29年3月期	27,507	8,404	30.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 7,910百万円 29年3月期 8,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
30年3月期	—	10.00	—		
30年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	14.4	50	△95.8	100	△91.0	50	△93.9	7.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	7,200,000株	29年3月期	7,200,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	200,000株	29年3月期	200,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	7,000,000株	29年3月期3Q	7,000,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、地政学的リスクの高まりや、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるものの、生産活動が緩やかに増加し、雇用および所得情勢も堅調に推移するなど、回復基調が続いています。

このような状況の中、当社グループは、2016年5月に公表した2018年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画「ASAHI2018プロジェクト」に基づき、諸施策を着実に推進しております。

しかし、建設需要が底堅く推移しているにもかかわらず、鉄筋需要の低迷に加え、主副原料の価格上昇により主力事業である鉄鋼建設資材事業が低調な展開となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は25,586百万円（前年同期比11.6%増）、営業損失は161百万円（前年同期は営業利益747百万円）、経常損失は95百万円（前年同期は経常利益695百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は418百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益359百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

## ①鉄鋼建設資材事業

鉄鋼建設資材事業の業績に影響を与える建設需要は、オリンピック関連工事も昨年秋口より動き始め、全般的には堅調に推移しましたが鉄筋の需要は工事進捗の遅れ等により盛り上がりには欠け、出荷は前年度並みとなりました。一方、鉄スクラップ価格はアジア地区の需要動向に大きく影響を受け、上昇基調が継続したことに加え、合金鉄・電極・耐火物等の副資材価格も上昇し、大幅なコストアップを余儀なくされました。

このような中、販売価格の改善や原単位低減等のコストダウンを推進しましたが、鉄スクラップ価格の上昇スピードに販売価格の改善が追いつかず、前年同期と比べ減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は15,231百万円（前年同期比21.3%増）、セグメント利益は164百万円（前年同期比85.1%減）となりました。

## ②砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業

砕石砕砂事業では、販売エリアにおける生コンクリート向け、アスファルト合材向けともに需要が好調に推移したことに加え、販売先新規開拓の進展により販売数量が増加しました。また、2016年に取得した新砵区と既存の砵区を繋ぐ原石運搬道路造成による生産性向上も加わり、増収増益となりました。マテリアルリサイクル事業では、がれき類の集荷量が前年を上回り、販売数量が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は1,735百万円（前年同期比13.0%増）、セグメント利益は91百万円（前年同期比16.0%増）となりました。

## ③農業資材事業

農業資材事業の業績に影響を与える肥料需要は、作付面積の減少、施肥の省力化等により減少傾向となっております。また、農林水産省の「農業競争力強化プログラム」における生産資材価格引き下げの取組も開始されました。

このような状況の中、主力事業である肥料事業では、家畜糞等の堆肥を原料とした「エコレット」を中心に高付加価値商品である有機質肥料の農家向け販売拡大に努めたほか、上期に肥料価格が上昇したことから、増益となりました。

種苗事業では、新品種の大玉トマト「有彩（ありさ）」やカボチャ「プリメラ」、メロン台木等の販売拡大を行い、前年同期と比べ増収となりました。

乾牧草事業では、国内における需要が底堅く、更に新規受注を獲得したことにより販売数量が増加し、増収となりました。また、豪州合弁会社の業績は、中国の需要が堅調に推移したことから販売数量が増加し、大幅な増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は8,576百万円（前年同期比2.2%減）、セグメント利益は474百万円（前年同期比45.9%増）となりました。

#### ④その他

報告セグメント以外の事業業績は、売上高は357百万円（前年同期比54.3%増）、セグメント利益は19百万円（前年同期比239.4%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、上記各セグメント別売上高の合計からセグメント間の内部売上高314百万円を差引き、25,586百万円となり、営業利益は、上記各セグメント別利益の合計からセグメント間の取引消去額、持分法による投資利益および管理部門経費など各事業に帰属しない全社費用の合計911百万円を差引き、161百万円の損失となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,315百万円増加し、17,172百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1,660百万円、原材料及び貯蔵品が441百万円、商品及び製品が438百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ414百万円増加し、13,064百万円となりました。主な要因は、機械装置及び運搬具が224百万円、投資有価証券（投資その他の資産）が150百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,729百万円増加し、30,236百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,921百万円増加し、15,514百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が2,523百万円、一年内返済予定の長期借入金が447百万円増加し、短期借入金が800百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,302百万円増加し、6,812百万円となりました。主な要因は、長期借入金が1,104百万円、社債が270百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,224百万円増加し、22,326百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ494百万円減少し、7,910百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末30.6%から26.2%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期の業績予想につきましては、2017年11月6日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、2018年2月6日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,336	4,996
受取手形及び売掛金	4,734	4,611
商品及び製品	4,762	5,200
原材料及び貯蔵品	1,510	1,951
その他	514	413
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	14,856	17,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,046	3,116
機械装置及び運搬具(純額)	3,745	3,969
土地	2,721	2,656
その他(純額)	1,098	1,194
有形固定資産合計	10,611	10,935
無形固定資産	234	210
投資その他の資産	1,804	1,918
固定資産合計	12,650	13,064
資産合計	27,507	30,236
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,268	6,792
短期借入金	4,700	3,900
1年内償還予定の社債	60	60
1年内返済予定の長期借入金	1,947	2,395
未払法人税等	34	10
賞与引当金	262	91
その他	2,318	2,264
流動負債合計	13,592	15,514
固定負債		
社債	120	390
長期借入金	3,870	4,975
退職給付に係る負債	964	912
環境対策引当金	111	29
その他	443	504
固定負債合計	5,510	6,812
負債合計	19,102	22,326

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,190	2,190
資本剰余金	1,802	1,802
利益剰余金	4,636	4,007
自己株式	△293	△293
株主資本合計	8,334	7,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160	227
為替換算調整勘定	35	62
退職給付に係る調整累計額	△125	△87
その他の包括利益累計額合計	69	203
純資産合計	8,404	7,910
負債純資産合計	27,507	30,236

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
売上高	22,922	25,586
売上原価	17,533	20,907
売上総利益	5,388	4,678
販売費及び一般管理費	4,641	4,840
営業利益又は営業損失(△)	747	△161
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	24	22
持分法による投資利益	52	176
その他	37	48
営業外収益合計	116	248
営業外費用		
支払利息	98	101
売上割引	53	56
その他	15	23
営業外費用合計	167	182
経常利益又は経常損失(△)	695	△95
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	25	13
特別利益合計	25	16
特別損失		
固定資産処分損	80	59
投資有価証券評価損	-	46
関係会社株式売却損	64	-
その他	8	-
特別損失合計	152	106
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	567	△185
法人税、住民税及び事業税	43	86
法人税等調整額	165	145
法人税等合計	208	232
四半期純利益又は四半期純損失(△)	359	△418
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	359	△418

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	359	△418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	154	67
為替換算調整勘定	△75	27
退職給付に係る調整額	53	38
その他の包括利益合計	132	133
四半期包括利益	491	△284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	491	△284
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	鉄鋼建設資材 事業	砕石砕砂・ マテリアルリ サイクル事業	農業資材事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	12,556	1,533	8,766	22,856	65	—	22,922
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	0	2	165	△168	—
計	12,556	1,536	8,766	22,858	231	△168	22,922
セグメント利益	1,106	78	324	1,509	5	△768	747

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントの業務請負事業であります。
2. セグメント利益の調整額△768百万円には、セグメント間取引消去0百万円、持分法による投資利益△52百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△716百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	鉄鋼建設資材 事業	砕石砕砂・ マテリアルリ サイクル事業	農業資材事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	15,231	1,731	8,576	25,539	46	—	25,586
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4	0	4	310	△314	—
計	15,231	1,735	8,576	25,543	357	△314	25,586
セグメント利益 又は損失(△)	164	91	474	729	19	△911	△161

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントの業務請負事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△911百万円には、セグメント間取引消去0百万円、持分法による投資利益△176百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△736百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。